

職業準備支援のご案内

このようなお悩みはありませんか？



就労移行支援事業所では
行っていない講座等を
利用者に受講させたい・・・

職業センターで解決！

就労移行支援事業所を
利用中の方も職業準備支援を
利用できます！



就職や復職に向けた準備を就労移行支援事業所と協同で支援します！

- ✓ 個々の目標に応じて受講時期と期間を設定できます
- ✓ 障害の特性に応じた専門的なプログラムを受講できます
- ✓ 受講にあたって、交通費や昼食代は自己負担となりますが、その他の経費は必要ありません

通常コース

個別の課題に応じて講座や作業を設定します。（期間は4週間から12週間で設定）

【利用例】

就労移行支援事業所では行っていない、ストレス対処の講習を職業準備支援で受講し、振り返り面談を就労移行支援事業所職員、職業センタースタッフと行いました。

（週4日就労移行支援事業所に通所し、週1日職業準備支援を利用）

初回
相談

就職や復職についての希望をお伺いします。

職業
評価

これまでの経過や、特徴を整理することで働くうえでの課題やアピールポイントを検討します。

体験

職業準備支援の体験と面談を行い、個別カリキュラムを設定します。

受講開始

※利用条件等は裏面をご覧ください。

短期コース

作業体験プログラム（全4日間）

ワークサンプル幕張版（MWS）を使用して、事務作業、軽作業の体験を行います。就労移行支援事業所で学んだストレス対処やコミュニケーションの練習の場として、また、習得状況の確認の場としても活用できます。

コミュニケーションプログラム（全5日間）

JST（職場対人技能トレーニング）、アサーションについて学ぶグループワークを行い、学んだスキルを作業場面で実践してみます。

※利用条件、手続きは「短期コース」のチラシをご覧ください。

通常コース プログラム例

講習

求職活動の準備について



- ・障害の開示、非開示、それぞれのメリット、デメリットを考えます
- ・履歴書やナビゲーションブック（自分の取扱い説明書）の作り方を学びます
- ・ジョブコーチ支援など、就職の際に利用できるサポートについて学びます

困ったときの対処方法の検討（問題解決技法）



- ・問題が発生したときの原因を把握し、よりよい問題解決策を選択できるよう、グループで練習をしながら、問題解決のスキルを学びます

職場のコミュニケーション



- ・職場内でよくあるコミュニケーション（挨拶や質問の方法など）についてグループでロールプレイを行いながら、対人スキルを高めます

自分の気持ちの伝え方（アサーション）

- ・自分と相手の双方が気持ちよくコミュニケーションをとるための方法を学びます



ストレス対処

- ・イライラ、不安が生じる仕組みを理解し、対処方法を学びます

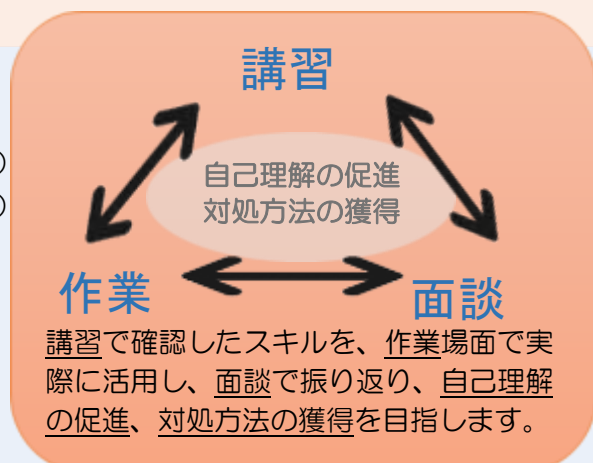
作業

事務作業

- ・PC作業（文書入力、アンケート入力など）
- ・簡易事務（数値チェック、請求書作成など）

軽作業

- ・ピッキング
- ・テーブルタップの組み立て・分解
- ・郵便物仕分け



通常コース 利用条件

- 精神障害や発達障害、高次脳機能障害の診断を受けている方（障害者手帳の有無は問いません）
 - 就労移行支援事業所を利用中であり、週5日程度、安定して通所することができている方
 - ハローワークに求職登録を行っており、就労移行支援事業所として、年度内の就職を目指している方
- ※年度末に、就労移行支援事業所の支援者あてに受講された方の就職活動の状況をお伺いしますので、ご協力ください

※利用に関する手続き、問い合わせは下記、（職業準備支援担当）まで電話でお願いします

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 神奈川支部
神奈川障害者職業センター 支援室

住所：相模原市南区相模大野3-13-7 YSビル5階
TEL：042-745-8845
Mail：kanagawa-ctr@jeed.go.jp

